



實性

令和五年 第四号 秋彼岸発行

秋のお彼岸ご案内

春のお彼岸を「花の彼岸」といいます。これに対し、秋のお彼岸は「月の彼岸」といいます。「お彼岸」は、日本独特の仏教行事です。

「彼岸」は、「彼の岸」つまり迷いや苦悩に満ちたこの世界「此岸しがん」から、苦悩や迷いのない悟りの世界に至ることをいいます。これを川にたとえ「此岸」から「彼岸」すなわち彼岸に渡る方法として六度の舟と云うのがあります。

六度の舟とは、「六波羅蜜むくはらみつ」のことです。「六波羅蜜」とは、

一、「布施」(ふせ)

「施しをした方」がもらって頂いた人に「ありがとう」と言うことです。

一、「持戒」(じかい)

「決まりを持ち」つつしむという意味もあります。

一、「忍辱」(にんにく)

「この災難は私への使命」納得して耐えること。

一、「精進」(しょうじん)

特別ではなく「不断の努力」

一、「禅定」(ぜんじょう) 「心身を安定し」自分自身を見つめること。

一、「智慧」(ちえ)

「仏様の智慧を頂戴して」この世に生を受けていること。

の六つです。人間として日頃から大切な心構えですが、私共は、日常生活に忙しく過ごして、なかなか自分を見つめることが難しいところです。そこで、一年で二回、春と秋の一週間、修行の時として定められました。この「六波羅蜜」をもって「彼岸」にわたることです。

お彼岸のこの時期は、昼と夜の長さが同じで、太陽は真東から上がり、真西に沈みます。左にも右にも偏らない仏教の「中道」の実践週間としたこの刻、自身を整え、今は亡きご先祖様の徳を忍んで、御礼のお墓参りを致しましょう。

彼岸会法要

お中日

■九月二十三日(祝・土) 午前十一時より

● お彼岸入り 九月二十日(水)

● お彼岸中日 九月二十三日(土)

● お彼岸明け 九月二十六日(火)

※お彼岸のお塔婆はお早めにお申し込みください。

※新型コロナウイルス感染状況により変更となりますことご了承ください。

四年ぶりの通年のお盆回向に戻りました。それでも住職・副住職はマスクを外せません。

皆様には、客殿にてお抹茶をお出しいたしました。お抹茶は、仏教と密接な関係にあります。もともとは、薬として、中国から仏教とともに日本に入ってまいりました。日本の大寺院には茶室が必ず備わっております。本来お抹茶は、接待のためではなく、仏の教えの三毒の内の睡魔をのぞくために法要の前に飲みます。これから始まる法要が、真心のこもったものになりますようにと、また、お菓子は、空腹での抹茶は、刺激が強すぎるので先に胃の中に食べ物を入れておきます。それにしても、茶菓は美しいものです。このような意味を持つ抹茶を飲んで頂きたいと存じます。

お抹茶の「おかわり」は、お寺としてはとても嬉しいこと、是非所望してください。どうぞご家族でお抹茶飲みに来てください。

盂蘭盆会



お盆法要でお話し致しました「どっこいしょ」は、仏教の言葉です。

椅子などから立ち座りの時、つい「どっこいしょ」と口から出ることがあったかと思えます。また、「どっこいしょ」から「どっこい」をとると、「よいしょ」となり、重い荷物を持ち上げるときなど「よいしょ」「よいしょ」など声を出します。

また、秋田の夏祭り竿灯では「どっこいしょ」「どっこいしょ」とかけ声をかけます。この「どっこいしょ」は、「六根清浄」からきています。

霊山等を登るとき「六根清浄」「六根清浄」と声を出しながら登ります。

この「六根清浄」とは、六の根が浄らかでありますようにと願います。

六根とは、

眼 耳 鼻 舌 身 意

のことです。修験道、山伏の人なども唱えながら山を歩きます。

枝も六角棒になっており、この六根を表わしています。

六根は「六境」といい、眼は色、耳は声、鼻には香、舌は味、身は触、意は法のことです。さらに「六識」とは、眼は視角、耳は聴覚、鼻は嗅覚、舌は味覚、身は触覚、意は思惟覚、これら六根が清浄でありますようにと祈ります。

そして、私共人間は、「六根」眼耳鼻舌身意の順に衰えていくともいわれています。

六根清浄!!



卒塔婆とは

普通に「お塔婆」と呼ばれておりますが、正式にはインドの言葉で「ストウーパ」という言葉が中国で「卒塔婆（そとうば）」と漢字に置き換えたものです。

この「ストウーパ」は、元々お釈迦様の遺骨、すなわち舍利（しゃりー）のことをいいます。埋葬した上に「しるし」として立てられたものが「仏舍利塔」です。「仏舍利塔」が「五重塔」になり、五重石塔になり、「木柱の塔（角塔婆）」になりそして板の塔婆になりました。板の塔婆の上部に五つの切り込みがありますが、五大、すなわち、地・水・火・風・空という万物を表しています。

塔婆を建立することは、物質的に最大の供養とされ、また、亡き人へのお手紙ともいわれています。この物質的最大のまごころの供養をもって差し上げたいものです。



實性寺の
彼岸花
ひがんばな

お彼岸の頃、開花するので彼岸花と呼ばれています。またマンジュシャゲ（曼珠沙華）とも呼ばれ梵語「赤い花・天上の花」の意味で、おめでたい兆しとされています。

境内の蓮の花



駐車場

当寺には山門右横の五〜六台の駐車場しかございません。

ご法事・お寺の行事（修正会・彼岸会・お施餓鬼・お盆等）には、とても不十分です。今までは、お檀家様の駐車場をその都度お借りしておりましたが、空きが無くなり、ご用意することができません。

大変ご迷惑をお掛け致しますが、お寺の周りの、コインパーキングをご利用頂くしかありません。その点は何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

開門・閉門時間

冬時間にともない開門・閉門時間を変更させていただきます。

十一月〜二月まで

● 開門 午前七時

● 閉門 午後四時

ご理解・ご協力の程宜しくお願い致します。

★夏の風物「風鈴」を飾りました。



★ご法要等のお塔婆を建立される方は、遅くとも十日前迄にお申し込みください。お電話よりファックスの方が正確ですのでご利用ください。

ファックス番号 03(3883)3227

振替 口座 00190-6-258873

※振込用紙をご入用の方はお申し出ください。

〒121-0061 東京都足立区花畑三十七ー十八
電話 03(3883)8866

浄土宗 實性寺

<http://www.jisyoji.com>

